

令和7年度第2回大阪府立福祉情報コミュニケーションセンター  
指定管理者評価委員会議事概要

開催日時：令和8年2月17日（火）午後1時00分から午後2時20分

会 場：オンライン会議

出席委員：（五十音順・敬称略）

沖 祐治（沖 祐治事務所 公認会計士）

柿木 志津江（関西福祉科学大学 社会福祉学部 教授）

中西 基（北大阪総合法律事務所 弁護士）

羽森 直子（流通科学大学 経済学部 教授）

### 会議の概要

1 開会

2 議事

（1）令和7年度の評価について

3 閉会

### 主な意見等

#### 基準1 施設の設置目的及び管理運営方針「評価A」

（指定管理者自主評価A、施設管理者評価A）

（主な質疑）

○令和8年度以降の評価票における会議室の利用状況の記載については、複数年度の実績を掲載した方が、正確な傾向を把握できるため、検討いただきたい。

#### 基準2 平等な利用を図るための具体的手法・効果「評価A」

（指定管理者自主評価A、施設管理者評価A）

（主な質疑）

○合理的配慮の提供として様々な工夫が託されている。小中学生の社会科見学を受け入れる等、合理的配慮の提供モデルとして、より広く府民に発信することを検討してはどうか。

⇒事務局より以下のとおり回答

- ・合理的配慮の所管課およびその他関係課へご意見を共有することとする。

#### 基準3 利用者に対するサービスの向上を図るための具体的手法・効果「評価A」

（指定管理者自主評価A、施設管理者評価A）

（質疑等：特になし）

#### 基準4 利用者への安全配慮、施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度「評価A」

（指定管理者自主評価A、施設管理者評価A）

（質疑等：特になし）

#### **基準5 府施策との整合「評価A」**

(指定管理者自主評価A、施設管理者評価A)

(質疑等：特になし)

#### **基準6 安定的な運営が可能となる人的能力「評価A」**

(指定管理者自主評価A、施設管理者評価A)

(質疑等：特になし)

#### **基準7 安定的な運営が可能となる財政的基盤「評価A」**

(指定管理者自主評価A、施設管理者評価A)

(主な質疑)

○全体として、財務状況に著しく問題が生じているとはいえ、指定管理者の自己評価どおりで問題なし。

○会議室の利用料金の増額等、指定管理者の各団体の収入を増額する手段の検討が必要ではないか。

○評価の際の参考資料となる財務諸表等については、前年度のものであるが、評価年度（進行年度）において重大な問題が発生していた場合、財政状況に重要な影響を及ぼすものもあるため、「該当年度の経営状況」を示す資料の提供について、検討いただきたい。

⇒事務局より以下のとおり回答

- ・団体によっては提出が可能な場合と、事務処理上等の理由から提出が困難な場合があることから、指定管理者の各団体と調整し、検討する。

#### **年度評価及び最終評価について**

○今年度の年度評価はAに決定

以上